

誠実と嘘

一般財団法人アーネスト育成財団
理事長 西河洋一

「誠実」な行動を心がけても、問題を起こしてしまうことはあります。気付いたら問題の現場に立ち、まさに「誠実」な対応を謙虚な姿勢で取り組む必要があります。問題が発生してからの対応も重要です。

往々にして、人は失敗した時や、私利私欲のために「嘘」をついてしまうことがあります。失敗した時、失敗を誤魔化す「嘘」をついてしまうと、更に「嘘」を重ねていかなければならない状況に陥ってしまうことになり、挙句の果てに、責任を取って辞めなければ成らないことがあります。

政治家が、私利私欲のために経費の領収書を偽装しお金を詐取する、それが公になって辞任するといった事件が最近多く起こっています。ちょっとした出来心が、人生を台無しにしてしまう典型例です。

失敗したら怒られるとか、失敗がばれたら給料や賞与が下がるだろうとか考えて、失敗を隠し、罪を犯してしまうのが人間の弱さだと思います。それに打ち勝つには、常に「誠実」である行動をすると、自分に言い聞かせ心を強く持つこと、誘惑に負けないことが重要です。失敗した時は、恥であっても正直に失敗をさらけ出して、謝罪して関係者の指示を仰ぎ、出来得ることを対処して物事を収めるしか方法はないのです。

「嘘」は、泥棒の始まりという諺がありますが、「誠実」にこだわって、「嘘」をつかぬよう日々心がけていきたいものです。